



ネットワーク大学コンソーシアム岐阜 令和8年度 前学期

申込期間 令和8年3月19日(木)~4月17日(金)

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜では、大学の授業を社会人の方や高校生の方に公開し
対面授業やインターネットを利用した自宅で受講できる授業を開講しています

社会人 公開授業 受講生募集

●対面授業

講師による対面授業を、大学生と同じ教室で受講できます

定員に達した場合は、先着順での受付となります

●同時双方向遠隔授業

ご自宅のパソコンから、リアルタイムでオンライン授業にご参加いただけます

●オンデマンド型遠隔授業

インターネットに接続したパソコンでご都合の良い時間に受講できます

配信期間は授業により異なります

申込方法

ホームページの申込フォーム



受講料

1科目につき 社会人：**7,000円**

※物価高騰に伴い、受講料を改定しました

コンソ加盟教育機関教職員・高校生：**無料**

Open lectures

index

岐阜大学 科目

P3-7

- | | |
|--------------------------------|-----------|
| 1. 言語学(北欧のことばと地域の方言) | 月曜日/3時限 |
| 2. 化学入門(日常生活でよく見る化学現象や化学製品を学ぶ) | 月曜日/2時限 |
| 3. 教養の環境学(里山と水辺の環境学) | 火曜日/2時限 |
| 4. 現代医学(現代医療の最前線) | 水曜日/1時限 |
| 5. フューチャーセンター入門 | 月曜日/5時限 |
| 6. 岐阜の自然(地質・活断層と水環境) | 火曜日/4時限 |
| 7. 地域と環境SDGs | 月曜日/5時限 |
| 8. 岐阜にまつわる東洋史 | 火曜日/5時限 |
| 9. 言語と文化(ドイツ語)【火曜日・2限】 | 火曜日/2時限 |
| 10. 言語と文化(ドイツ語)【火曜日・4限】 | 火曜日/4時限 |
| 11. 言語と文化(ドイツ語)【水曜日・1限】 | 水曜日/1時限 |
| 12. 言語と文化(ドイツ語)【水曜日・2限】 | 水曜日/2時限 |
| 13. ドイツ語 I | 火曜日/3時限 |
| 14. パターン認識 | 月曜日/2時限 |
| 15. 計測工学 | 木曜日/2時限 |
| 16. 生産システム学 | 火曜日/2時限 |
| 17. 知能機械工学演習 | 木曜日/2・3時限 |
| 18. 航空宇宙生産技術(生産管理工学) | 木曜日/1時限 |
| 19. 動物園学・博物館概論 | 月曜日/4時限 |

岐阜薬科大学 科目

P7

- | | |
|-----------|---------|
| 20. 薬用植物学 | 月曜日/3時限 |
|-----------|---------|

岐阜協立大学 科目

P8

- | | |
|----------------------------|---------|
| 21. まちづくり実践論(旧:NPOコミュニティ論) | 木曜日/4時限 |
|----------------------------|---------|

朝日大学 科目

P8-9

22. 法思想史A	月曜日/4時限
23. 地域表象論	火曜日/4時限
24. 発育発達と老化	金曜日/2時限
25. レクリエーション論	月曜日/2時限

岐阜聖徳学園大学 科目

P9-11

26. 運動学(運動方法学を含む。)	火曜日/3時限
27. 経済学概論 I (国際経済を含む。)	木曜日/2時限
28. 物理学Ⅲ	火曜日/3時限
29. 幾何学特論	火曜日/2時限
30. American StudiesⅡ	金曜日/4時限
31. 世界と日本 I	木曜日/2時限
32. アメリカ文化研究 I	金曜日/4時限
33. 現代医療論	木曜日/3時限
34. 金融論 I	火曜日/1時限
35. 情報と社会	火曜日/3時限
36. Eコマース論 I	木曜日/4時限

受講にあたっての諸注意

P12

手続きの流れ

P13

アクセスマップ

P14

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜では、加盟する高等教育機関が提供する授業科目を社会人（一部は高校生）に公開しています。授業科目ごとに開講日と受講方法が異なりますので、確認のうえお申込みください。
各科目の詳細は、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜のホームページをご覧ください。各大学までお問い合わせください。なお、開講日程および講義内容等は事情により変更される場合がありますことをご了承願います。

岐阜大学

1. 言語学(北欧のことばと地域の方言)

[高校生受講可能]

科目内容	この講義では、言語一般に関する知識を習得するとともに、外国語である北欧諸語を初歩的に学び、外国語と日本語、地域の方言（主に岐阜）、自身の方言を客観的な視点で観察し、その違いや特徴を発見、理解できることを目指す。そして、外国語を知ることが、自身の母語や方言の客観的な理解につながることを学ぶ。		
担当講師	大宮 康一（地域連携推進本部地域協学センター 准教授）	初回講義日	4月13日（月）
曜日・時限	月曜日・3時限目（13:00～14:30 全15回）		
受講方法	対面授業	講義場所	全学共通教育講義棟 25番教室
注意事項	学年暦より7月23日（木）は本講義があります。		

2. 化学入門(日常生活でよく見る化学現象や化学製品を学ぶ)

[高校生受講可能]

科目内容	私たちのまわりには「化学」が関わる様々な現象や製品に満ち溢れている。ドライクリーニングは油汚れや皮脂に効果的で、汗やジュースの汚れは水洗いが効果的である。お風呂の洗剤とトイレの洗剤を使って塩素ガスが発生した話。水、5大栄養素、うまみ成分、発酵食品、プラスチック、エネルギー、電池などみんな「化学」である。身のまわりの現象も「化学」を学習することで理解でき、社会生活に役立つ。本講義では身近なものや事例をとりあげ、ご自身の実体験とともに整理しながら「化学」の重要性を理解する。文系学生でも理解できるよう説明する。		
担当講師	瀬瀬 守（工学部 教授）	初回講義日	4月13日（月）
曜日・時限	月曜日・2時限目（10:30～12:00 全15回）		
受講方法	対面授業	講義場所	全学共通教育講義棟 105番教室
注意事項	重要項目を教科書に書き込みながら知識を習得してもらいます。カラー写真やイラストが多く掲載されている教科書の準備は必須です。教科書：『楽しく学ぶ 暮らしの化学 生活に生かせる化学の知識』瀬瀬 守 著 化学同人 2021 9784759820553 ※第7刷の最新版教科書を事前にご準備ください。 学年暦より7月23日（木）は本講義があります。		

3. 教養の環境学(里山と水辺の環境学)

[高校生受講可能]

科目内容	私たちにとって身近な自然である里山や水辺は、長い歴史の中で人間の干渉を受けながら形づくられてきた自然生態系（二次的自然）です。その成り立ちと人間活動による影響、里山や水辺の社会的効用を理解することは、21世紀における人と自然のよりよい関係を構築する上での基本的なリテラシーとなります。本科目では人と自然の関わりに着目しながら、日本の身近な自然の環境について理解し、将来に引き継ぐために必要な方策について思考を深めることをねらいとします。		
担当講師	伊藤 浩二（地域連携推進本部地域協学センター 助教）	初回講義日	4月14日（火）
曜日・時限	火曜日・2時限目（10:30～12:00 全15回）		
受講方法	対面授業	講義場所	全学共通教育講義棟 コモンズ1A・1B
注意事項			

4. 現代医学(現代医療の最前線)

科目内容	医療・医学は先人たちの試行錯誤の繰り返しで進歩し、現在も進歩を続けている。本講義では医療現場の現状・将来を学ぶ場として現代医療の最先端について各分野の専門家が講義し、今後の医療の可能性とあるべき姿を展望する。講義を通じ自らの健康状態について考え生活に生かすことにも留意する。先端的医療の紹介を中心に、必要な情報を得るなどして患者こそが現代医療を担う主体であると自覚することを目指す。		
担当講師	兼村 信宏(医学系研究科 准教授)ほか	初回講義日	4月15日(水)
曜日・時限	水曜日・1時限目(8:45~10:15 全15回)		
受講方法	対面授業	講義場所	全学共通教育講義棟 105番教室
注意事項	学年暦より5月1日(金)は本講義があります。		

5. フューチャーセンター入門

[高校生受講可能]

科目内容	この授業では、実践・グループワークを通して自発的な学びにより、多様な人たちが集まる「対話の場」を作り上げることを目指す。フューチャーセンターとは、多様な人たちが集まり複雑化したテーマについて「未来志向」「未来の価値の創造」の視点から議論する「対話の場」を指す。授業は座学とグループワークを軸とし、基本的な知識や手法を学び、地域の課題の抽出や解決に向けた活用方法を理解する。		
担当講師	益川 浩一(地域連携推進本部地域協学センター 教授)ほか	初回講義日	4月13日(月)
曜日・時限	月曜日・5時限目(16:30~18:00 全16回)		
受講方法	対面授業	講義場所	全学共通教育講義棟 1C教室
注意事項	講義内容(実践)によっては学外で行うことがある。 実践・演習の実施状況に応じて変則的に開講することもあるので、授業参加後に先生に確認してください。 学年暦より7月23日(木)は本講義があります。		

6. 岐阜の自然(地質・活断層と水環境)

科目内容	岐阜県には、日本の縮図と呼ぶべき地質や活断層、水環境がある。20億年前の岩石、日本最古の化石があり、種類も多様である。1891年濃尾地震で動いた根尾谷断層は地震の理解に大きく貢献した。清流長良川などの源流から河口までがあり、地下水にも恵まれる。これらの自然について理解を深め、地質や活断層、水環境について知ることにより身近に潜む問題点を学ぶ。また講義で紹介する博物館のいずれかを見学し、内容をレポートにまとめ、主体的に学ぶ能力を身につける。		
担当講師	大谷 具幸(工学部 教授) 神谷 浩二(工学部 教授) 吉村 英人(工学部 准教授)	初回講義日	4月14日(火)
曜日・時限	火曜日・4時限目(14:45~16:15 全15回)		
受講方法	対面授業	講義場所	全学共通教育講義棟 104番教室
注意事項	講義は全11回であり、残りは博物館実習を行う。講義で紹介する博物館の中から1ヶ所を選んで、見学を行い、レポートを作成する。なお、見学する経費と保険は自己負担。		

7. 地域と環境SDGs

科目内容	地球温暖化や海洋汚染、水質汚染、大気汚染、森林破壊などの環境問題が深刻になっている。そのため企業、自治体でも環境に配慮した経営が求められ、環境マネジメントシステム(EMS)の導入が進んでいる。講義ではEMSの枠組みを理解し、環境負荷の分析評価を通して持続可能な世界を実現するためのヒントを考える。岐阜大学の環境への取り組みを紹介し、環境をキーワードに本学教員から学ぶ。また自治体・銀行・電力・製造業などのゲストスピーカーの話を伺う。施設見学も予定している。		
担当講師	櫻田 修(工学部 教授)ほか	初回講義日	5月18日(月)
曜日・時限	月曜日・5時限目(16:40~18:10 全16回) ※岐阜大学の講義時間と異なります。		
受講方法	対面授業	講義場所	全学共通教育講義棟 21番教室ほか
注意事項	第9回~第16回は、夏休み期間中の2日間(8/17、18)に岐阜大学で対面授業を予定しています。		

8. 岐阜にまつわる東洋史

[高校生受講可能]

科目内容	「岐阜」の名前だけでも意外と奥が深い。 日常的に使用している名前や目にしている出来事について、その背景を歴史の面から知り、ものの考え方の一つとして歴史学の手法を知ること視野を広げてもらいたい。 導入として「岐阜の由来」に関連する古代中国や中世日本を取り上げ、そこから日本建築史をベースにした技術史を中心に話を展開する。		
担当講師	塚本 明日香(地域連携推進本部地域協学センター 准教授)	初回講義日	4月14日(火)
曜日・時限	火曜日・5時限目(16:30~18:00 全15回)		
受講方法	対面授業	講義場所	全学共通教育講義棟 37番教室
注意事項			

9. 言語と文化(ドイツ語)【火曜日・2限】

科目内容	グローバルに活躍する人材の育成が求められ、多言語、多文化の状況に適応する能力は今後ますます必要となっていく。英語以外の言語を知り、その背景にある文化や社会について理解する姿勢は欠くことのできない資質である。英語学習で見方が平面的に広がるなら、第二の外国語を学ぶことは立体的に広がることにつながる。本授業ではドイツ語を学ぶとともに、ドイツ語が話されている地域の社会や文化について理解することを目的とする。言葉を通して思考形態や価値観、文化的背景を知り、多様性と普遍性への気づきを促す。		
担当講師	アレクサンドラ フォン フラクシュタイン(地域科学部 准教授)	初回講義日	4月14日(火)
曜日・時限	火曜日・2時限目(10:30~12:00 全15回)		
受講方法	対面授業	講義場所	全学共通教育講義棟 2D教室
注意事項			

10. 言語と文化(ドイツ語)【火曜日・4限】

科目内容	9.言語と文化(ドイツ語)【火曜日・2限】と同じ内容のものを、時限を変えて講義します。		
担当講師	アレクサンドラ フォン フラクシュタイン(地域科学部 准教授)	初回講義日	4月14日(火)
曜日・時限	火曜日・4時限目(14:45~16:15 全15回)		
受講方法	対面授業	講義場所	全学共通教育講義棟 2D教室
注意事項			

11. 言語と文化(ドイツ語)【水曜日・1限】

科目内容	9.言語と文化(ドイツ語)【火曜日・2限】と同じ内容のものを、曜日・時限を変えて講義します。		
担当講師	アレクサンドラ フォン フラクシュタイン(地域科学部 准教授)	初回講義日	4月15日(水)
曜日・時限	水曜日・1時限目(8:45~10:15 全15回)		
受講方法	対面授業	講義場所	全学共通教育講義棟 2D教室
注意事項	学年暦より5月1日(金)は本講義がありません。		

12. 言語と文化(ドイツ語)【水曜日・2限】

科目内容	9.言語と文化(ドイツ語)【火曜日・2限】と同じ内容のものを、曜日を変えて講義します。		
担当講師	アレクサンドラ フォン フラクシュタイン(地域科学部 准教授)	初回講義日	4月15日(水)
曜日・時限	水曜日・2時限目(10:30~12:00 全15回)		
受講方法	対面授業	講義場所	全学共通教育講義棟 2D教室
注意事項	学年暦より5月1日(金)は本講義がありません。		

13. ドイツ語 I

科目内容	グローバルに活躍する人材が求められる現代において、英語以外の外国語を学習することは異文化理解の側面からも必要とされている。この授業では、ドイツ語によって情報や知識を発信・受信できる能力の習得を目標とする。またドイツ語を用いる地域の文化や社会について理解を深め、世界を相対的に捉え多面的に考察する能力を涵養する。文法を中心にドイツ語の基礎を学び、講義スタイルではなく、グループ学習やゲーム、歌のテキストを通して楽しく勉強することを目指す。		
担当講師	アレクサンドラ フォン フラクシュタイン (地域科学部 准教授)	初回講義日	4月14日(火)
曜日・時限	火曜日・3時限目(13:00~14:30 全15回)		
受講方法	対面授業	講義場所	全学共通教育講義棟 2D教室
注意事項	必ず『独和辞典』を持参してください。		

14. パターン認識

科目内容	パターン認識についての学力を基礎理論、ならびに最新の応用事例の紹介で習得する。人間の脳ではパターンの特徴化と、入力に対する認識・理解に知能がつけやされている。パターン認識は、コンピュータによる音声、自然言語、画像などの認識の基礎理論である。本講義では、このような人間の知的な処理をコンピュータで実現するためのパターン認識技術の基礎理論を習得し、実例を通じて応用を学ぶ。		
担当講師	加藤 邦人(工学部 教授)	初回講義日	4月13日(月)
曜日・時限	月曜日・2時限目(10:30~12:00 全15回)		
受講方法	対面授業	講義場所	工学部棟 201教室
注意事項	学年暦より7月23日(木)は本講義があります。		

15. 計測工学

科目内容	計測とは、何らかの目的をもって事物を量的に捉え、その結果を目的のために利用することであり、工学技術の発展において重要な役割を担っています。本講義では、単位と標準、誤差、各物理量の測定原理、計測データ処理や計測器の基礎を習得します。		
担当講師	古屋 耕平(工学部 准教授) 上木 諭(工学部 准教授)	初回講義日	4月16日(木)
曜日・時限	木曜日・2時限目(10:30~12:00 全15回)		
受講方法	対面授業	講義場所	工学部棟 102教室
注意事項	教科書を事前にご準備ください 【計測システム工学の基礎 第4版 松田康広, 西原主計著 森北出版, ISBN 978-4-627-66444-9】		

16. 生産システム学

科目内容	生産技術と生産管理についての技術紹介。特に工場や工作機械の自動化、カンバン生産などについて講義します。モノづくり企業に入ってからしか見聞きしない生産技術の内容を、本講義でマスターすることで、生産技術に関するソフトとハードの両技術を獲得することを目標とします。		
担当講師	山本 秀彦(名誉教授)	初回講義日	4月14日(火)
曜日・時限	火曜日・2時限目(10:30~12:00 全16回)		
受講方法	対面授業	講義場所	工学部棟 204教室
注意事項	教科書を事前にご準備ください 【共立出版「生産技術と知能化」著者 山本秀彦 ISBN:978-4-320-08177-2】		

17. 知能機械工学演習

科目内容	高度で複雑な動きをする機械製品にはマイクロコンピュータが搭載されている。本演習では、実際にワンチップマイコンボードを利用し、簡単なロボットを製作する。その過程でマイコンボードによる使用方法、プログラミング、モータ・センサー・機械部品の利用方法などを実践的に学習する。演習最後の発表会・競技会では、プレゼン技能、資料作成能力、表現力などを養う機会を提供する。		
担当講師	伊藤 聡(工学部 教授)	初回講義日	①4月16日(木) ②6月4日(木)
曜日・時限	木曜日・2・3時限目(10:30~14:30 全16回)		
受講方法	対面授業	講義場所	工学部棟 C419教室
注意事項	2時限連続で開講します。(演習の進捗状況により延長もあり)、第13,14回は第11,12回に連続して18時まで実施します。受講希望の場合は、申込み時に知能機械工学演習①(4月から5月)または知能機械工学演習②(6月から7月)のどちらかを選択してください。パソコンの操作と初歩的なプログラミングはできること。随時資料を配布します。		

18. 航空宇宙生産技術(生産管理工学)

科目内容	生産管理は製造業やサービス業に現れる意思決定や効率的な運用法や管理技法に関する考え方や実践活動である。本講義では生産・製造活動に焦点を当て、生産業務に関する最適な設計・運用・管理の技術、および、その意思決定に必要な技法や方法論を論理的かつ数理的な視点から説明する。また、近年のICTやIoTによる適用例や問題解決の方策について説明する。		
担当講師	荒川 雅裕(工学部 非常勤講師 / 名古屋工業大学大学院 教授) コーディネーター:伊藤 和晃(工学部 教授)	初回講義日	4月16日(木)
曜日・時限	木曜日・1時限目(8:45~10:15 全15回)		
受講方法	オンデマンド型遠隔授業	講義場所	【初回のみ】工学部棟 102教室
注意事項	初回(4/16)は対面でガイダンス、講義はオンデマンドで行います。対面でのガイダンスへの出席は、必須ではありません。講義の配信につきましては、講師よりメールにて連絡がございます。お待ちください。		

19. 動物園学・博物館概論

[高校生受講可能]

科目内容	動物園(水族館も含む)は、生きた動物、主に野生動物を収集・飼育し、種の保存を図りながら展示や研究等を行う博物館の一形態である。動物園はレクリエーション、教育、種の保存、調査・研究が中心的な役割とされ、生物多様性の保全にも貢献し、現代社会に必要不可欠な場所になっている。動物園の存在意義と機能について歴史的背景から紹介し、動物園とは何か、動物園学とは何かを博物館の観点から概説する。		
担当講師	楠田 哲士(応用生物科学部 教授)	初回講義日	4月13日(月)
曜日・時限	月曜日・4時限目(14:45~16:15 全15回)		
受講方法	対面授業	講義場所	応用生物科学部棟 102教室
注意事項	学年暦より7月23日(木)は本講義があります。		

岐阜薬科大学

自家用車による通学可。事前にメールでご相談ください。

20. 薬用植物学

科目内容	薬物療法の出発点でもある薬用植物学を講述する。薬用植物を他の植物と区別し理解するために植物形態学と植物分類学の基礎を解説し、日本薬局方収載の薬用植物を例に、医療に利用される植物の分類、形態、生産、薬効などについて述べる。さらに民間薬・漢方薬などの代替医療についても解説する。また、薬用植物を由来とする医薬品原料(生薬)を理解するために基礎知識を修得する。		
担当講師	酒井 英二(薬学部薬草園研究室 教授)	初回講義日	4月6日(月)
曜日・時限	月曜日・3時限目(13:00~14:30 全15回)		
受講方法	対面授業	講義場所	三田洞キャンパス 第2講義室
注意事項	学年暦より、5月4日、7月20日は祝日のため講義はありません。講義日、内容については、今後、変更となる可能性があります。教科書『薬用植物学 改訂第7版』南江堂 参考書『新訂生薬学 改訂第9版増補』南江堂		

21. まちづくり実践論(旧:NPOコミュニティ論)

科目内容	身の回りにある生活課題の解決のため、地域では様々な実践が見られます。地域社会に関わる政策や実践例を通じて、互いに助け合いながら安心して暮らせる地域づくり・まちづくりについて学びます。 この授業で所定のレポートについて合格し、別途申込みを行うと、「岐阜県コミュニティ診断士」認定試験の受験資格が得られます(申込受付9月、認定試験10~11月を予定)。		
担当講師	菊名 舞(経済学部 准教授)ほか	初回講義日	4月9日(木)
曜日・時限	木曜日・4時限目(14:40~16:10 全15回)		
受講方法	対面授業 または オンデマンド型遠隔授業	講義場所	北方キャンパス(講義室未定)
注意事項	都合上、各回のテーマが前後する可能性があります。変更が生じる際には事前に連絡します。		

授業実施日については学年暦でご確認ください。

22. 法思想史A

科目内容	法思想史Aは、基礎法学の1つとして実定法を異なる角度から照らし出し、その理解を促進する役割をもつ。現代の法律や裁判例の基礎には、歴史的に受け継がれてきた正義や公正、平等や自由に関するアイデアが伏在している。それらは、過去の悲惨な事件や戦争、大規模な人権侵害への反省から導かれた。本講義では、その歴史と法をめぐる考え方のつながりを明らかにし、現代の法を見る目を豊かにすることを目的とする。		
担当講師	椎名 智彦(法学部 教授)	初回講義日	4月13日(月)
曜日・時限	月曜日・4時限目(14:55~16:25 全15回)		
受講方法	対面授業(ディスカッション、ディベート、討議、ICTを活用した双方向型授業)	講義場所	穂積キャンパス 6号館5階 6504講義室
注意事項	テキスト:中山竜一・浅野有紀・松島裕一・近藤圭介『法思想史』(有斐閣 2019) ISBN:978-4-641-22133-8 7月23日(木)は月曜日の14回目の授業を実施します。		

23. 地域表象論

科目内容	地域はアイデンティティの大きな源の一つであり、育った/居住する地域の特性は人格形成に大きな影響を与えている。一方で多くの人々は自分の地域の本当の姿を知らない。本講義では“自分”と“自分の地域”の関わりを解き明かす方法を身につけ、地域表象の理解を深め、他地域との相互尊重を行う知識と態度を涵養する。地域資源の発掘など現代的な地域経営の問題に対応する基礎的な議論を行う。		
担当講師	畦地 真太郎(経営学部 教授)	初回講義日	4月7日(火)
曜日・時限	火曜日・4時限目(14:55~16:25 全15回)		
受講方法	対面授業(グループワーク、ペアワーク、ディスカッション、ディベート、ICTを活用した双方向型授業等により授業を行う)	講義場所	穂積キャンパス 5号館1階 513講義室
注意事項	4月28日(火)は水曜日の3回目の授業を実施します。		

24. 発育発達と老化

科目内容	加齢とは、生まれてから死に至るまでの徐々にかつ自然に変化していく様を意味する。生まれてから成長するまでの期間は発達成長するプラスの要素、成長期以後死に至るまでの期間は身体全ての臓器において機能が低下や減退するマイナスの要素として示される。エイジングを正しく理解し、健全な発達成長と老化について理解できるようにする。本講義では誕生から高齢期までを学修する。		
担当講師	竹島 伸生(保健医療学部 教授)	初回講義日	4月10日(金)
曜日・時限	金曜日・2時限目(10:45~12:15 全15回)		
受講方法	対面授業	講義場所	穂積キャンパス 6号館2階 6201講義室
注意事項	履修者は将来子供や高齢者など幅広い層の人たちに運動指導などを行いたいと考えている人に受講して欲しい内容となっている。 テキスト:ナップ「ウエルピクス運動のすすめ」(竹島伸生編著、2017) ISBN:978-4-905168-51-5		

25. レクリエーション論

科目内容	本講義はレクリエーション活動とその提供・支援に関して学修することを主目的とする。本科目は講義を中心として展開されるが、双方向での議論や考察を意識した学習活動を目指す。レクリエーション運動の歴史や現状を把握し使命・役割・教育的機能について学ぶ。指導者として活動支援に関する知識と技能の修得をめざす。最適なレクリエーション活動を提供し支援できる基礎的能力を養う。		
担当講師	築瀬 歩(保健医療学部 教授)	初回講義日	4月13日(月)
曜日・時限	月曜日・2時限目(10:45~12:15 全15回)		
受講方法	対面授業(アクティブラーニング・ICT活用あり)なお、状況によっては対面と配信のハイブリッド方式で行う場合もある。	講義場所	穂積キャンパス 5号館1階 514講義室
注意事項	7月23日(木)は月曜日の14回目の授業を実施します。 テキスト:講義の中で指示する。		

初回以降の授業のお知らせは学内システムでお知らせします。
祝日に授業を実施する場合があります。授業日は学年暦をご確認ください。
自家用車による通学可。事前にメールでご相談ください。
駐車場許可証を発行いたします。

岐阜聖徳学園大学

26. 運動学(運動方法学を含む。)

科目内容	運動学の授業では、スポーツ・運動の指導現場に役立つ統合的な知識、理論、方法を学ぶ。授業の進め方としては、まず、動きの捉え方の観点の違いの確認や、人間の運動を動物や機械の動きと対比させる中で、学問分野のねらいに迫る。次に、運動の構造、発生、伝承という観点について、グループワークや発表、講義を通して指導方法論を学ぶ。		
担当講師	熊谷 慎太郎(教育学部 准教授)	初回講義日	4月14日(火)
曜日・時限	火曜日・3時限目(13:10~14:40 全15回)		
受講方法	対面授業	講義場所	羽島キャンパス 講義室未定
注意事項			

27. 経済学概論 I (国際経済を含む。)

科目内容	現代社会について経済はどのように機能しているかについて、経済学の入門レベルから入ります。とくにミクロ経済学の視角を多種多様な経済主体の眼を通して考えます。典型的には与えられた予算制約の下で効用を最大化しようとする合理的な消費者、および与えられた技術制約の下で利潤を最大化しようとする合理的な企業者、および市場経済だけでは解決できない部分をどのようにあつかうのかについての合理的な政府の視点を考察します。		
担当講師	宮川 典之(教育学部 教授)	初回講義日	4月9日(木)
曜日・時限	木曜日・2時限目(10:40~12:10 全15回)		
受講方法	対面授業	講義場所	羽島キャンパス 講義室未定
注意事項	4月30日(木)は授業休講日です。		

28. 物理学Ⅲ

科目内容	自然に対して興味や関心を高め、自然の事物や現象に対して物理学的に探求する能力と態度を養う。小中高等学校学習指導要領に準じた内容のうち、特に力学・量子論などが関連する現象についての概念や原理、法則を理解し、さらにそれらを系統的に理解し科学的自然観を育成することを目指す。		
担当講師	梶山 裕二(教育学部 准教授)	初回講義日	4月14日(火)
曜日・時限	火曜日・3時限目(13:10~14:40 全15回)		
受講方法	対面授業	講義場所	羽島キャンパス 講義室未定
注意事項			

29. 幾何学特論

科目内容	小学校・中学校・高等学校・大学3年時までに学習した幾何学などの必要な部分を復習しながら、交点・共線などの図形の色々な位置の性質を学習する。ここにおいて、小中学校での教育に資すべく、解析幾何学的(座標的)取り扱いではなく初等幾何学的取り扱いを行う。		
担当講師	福田 茂隆(教育学部 教授)	初回講義日	4月14日(火)
曜日・時限	火曜日・2時限目(10:40~12:10 全15回)		
受講方法	対面授業	講義場所	羽島キャンパス 講義室未定
注意事項			

30. American Studies II

科目内容	<p>1. Students read passages from the textbook as well as authentic texts from American culture. They will have to answer questions on these readings in weekly quizzes.</p> <p>2. Students give oral summaries (main points & opinions) in class. They respond to others' ideas in group/class discussions.</p> <p>3. Students listen to the instructor's presentations while taking notes.</p> <p>4. Students will learn by organising facts (on their own and in groups) into writing and presentation projects.</p>		
担当講師	トンプソン アラン(人文学部 教授)	初回講義日	4月10日(金)
曜日・時限	金曜日・4時限目(14:50~16:20 全15回)		
受講方法	対面授業	講義場所	岐阜キャンパス 講義室未定
注意事項	この講義はCEFR B1レベルの英語力が必要です。このレベルに達していない場合は、英語レベルを上げてから受講することをお勧めします。 5月1日(金)は開学記念日のため授業休講日です。		

31. 世界と日本 I

科目内容	本講義は物事が複雑に絡み合いながら進展するグローバル社会の中で、文化交流という観点から世界と日本の関係を歴史的に検討する。世界の中で日本はどのような存在であるのか、また日本の中にある世界とは何かを考える。文化がどのように伝播、または再伝播していくか注目する。日本は他者をどのように理解してきたか、また世界の国々は日本をどのように見ていたのか考える。受講生には自ら調べてグループ・ディスカッションを行い発表する機会も与える。		
担当講師	武井 寛(人文学部 教授)	初回講義日	4月9日(木)
曜日・時限	木曜日・2時限目(10:40~12:10 全15回)		
受講方法	対面授業	講義場所	岐阜キャンパス 講義室未定
注意事項	4月30日(木)は授業休講日です。		

32. アメリカ文化研究 I

科目内容	ネイティブアメリカンに関連する文化的産物を手がかりに、イギリスの植民政策からアメリカ建国、その後のアメリカ史において、彼らが置かれてきた歴史的状況と闘いのあり方を紐解く。そして、彼らが自らのアイデンティティや権利をどのように維持し確立しようとしてきたのかを考察する。さらに、アメリカ社会で彼らがどのように表象され、文化や国家の物語に取り込まれてきたのかを検証する。授業では主体的な参加が求められる。		
担当講師	寺澤 由紀子(人文学部 准教授)	初回講義日	4月10日(金)
曜日・時限	金曜日・4時限目(14:50~16:20 全15回)		
受講方法	対面授業	講義場所	岐阜キャンパス 講義室未定
注意事項	5月1日(金)は開学記念日のため授業休講日です。		

33. 現代医療論

科目内容	医学の発達の歴史と医療技術の変遷、社会における医療の役割など、現代医療をめぐる様々なテーマに沿って基本的な知識を学習する。医療政策、医療経済、医療者の職業倫理、患者の権利（自己決定権をめぐる諸問題）、生や死をめぐる倫理問題、先端医療における倫理問題などの学習を通して医療職としての役割と自身のあるべき姿について考える。		
担当講師	中塚 晶博(看護学部 教授)	初回講義日	4月9日(木)
曜日・時限	木曜日・3時限目(13:10~14:40 全8回)		
受講方法	対面授業	講義場所	羽島キャンパス 講義室未定
注意事項	4月30日(木)は授業休講日です。 学部生の実習状況に応じて、変則的に開講することがあります。受講前に羽島教務課にご確認ください。		

34. 金融論 I

科目内容	金融の基礎、銀行の機能、地域金融の理論、フィンテックや地域金融の諸問題について学びます。		
担当講師	加納 正二(経済情報学部 教授)	初回講義日	4月14日(火)
曜日・時限	火曜日・1時限目(9:00~10:30 全15回)		
受講方法	対面授業	講義場所	岐阜キャンパス 3号館3階 333講義室
注意事項	この講義はテキストが必要です。(4月に学内で購入することができます) 書名:『地域密着型金融の限界とフィンテック』、 著者:加納正二、出版社:三恵社、ISBN:978-4-86487-984-2		

35. 情報と社会

科目内容	前半の第1回から第8回(担当:高橋)は、情報と社会のかかわりやその歴史、現代社会の発展に大きく貢献した情報技術の中から代表的なものをいくつか解説し、データ駆動型社会、AIと社会について概説する。後半の第2部の第9回から第15回(担当:難波田)は、実際にIT関連の業務に取り組まれている企業の方を講師としてお招きし、これからの情報社会の在り方等に関して、ご講義いただきます。第2部の講義テーマは変更になる場合があります。		
担当講師	高橋 友和(経済情報学部 教授) 難波田 隆雄(経済情報学部 非常勤講師)	初回講義日	4月14日(火)
曜日・時限	火曜日・3時限目(13:10~14:40 全15回)		
受講方法	対面授業	講義場所	岐阜キャンパス 3号館1階 310講義室
注意事項			

36. Eコマース論 I

科目内容	インターネットの発達により国内はもちろん国際的にも商取引の形態がダイナミックに変貌した。これまでは、商社や大企業を中心としたビジネスが大半を占めていたが、最近ではメーカーや流通業の商取引が急速に普及・拡大している。本講義はこうした電子商取引の仕組みや現状、そのメリットや問題点などをテーマとしたものである。IT活用によるデータ交換と情報共有の進展と問題点をEDI、CALSなどを通して学び、さらにeビジネスにおける諸主体間の関係性の特質や問題点をSCM(ロジスティクス)、CRMなどを通して学びます。		
担当講師	河野 公洋(経済情報学部 教授)	初回講義日	4月9日(木)
曜日・時限	木曜日・4時限目(14:50~16:20 全15回)		
受講方法	対面授業	講義場所	岐阜キャンパス 3号館5階 350講義室
注意事項	4月30日(木)は授業休講日です。		

【受講にあたっての諸注意】

☆ 受講について

・受講方法は、授業が始まってからは受講生の都合での変更を基本にお断りしております。ご承知願います。

・社会人公開授業は授業時間内での学習を原則としており、授業時間外での質疑応答には応じかねる場合がございます。また、受講にあたっては、担当教員の指示に従っていただき、正規学生の学習の妨げにならないようにご配慮ください。

・各学校の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない行為等を行った場合には受講を停止することがあります。受講を停止された場合であっても、既に納入された受講料は返還できませんのでご承知願います。

[受講に際しての禁止事項]

1. オンデマンド型遠隔授業を受ける際にお伝えする「ID」と「パスワード」は、他人に絶対に漏らさないようにしてください。

2. 授業で教員に提供された資料や動画などは、著作権の関係で受講生にのみ公開されています。授業資料や動画などを、ご自身以外の第三者に見せたり、インターネット上（SNSやメール等）へ転載・転送することは絶対に行わないでください。

3. 授業の様子を担当教員・出席者の許可なく写真などで記録し、インターネット上（SNSやメール等）で公開することは絶対に行わないでください。

☆ 授業について

・授業は、週1回の計15回を基本としていますが、科目によって回数が異なる場合があります。また、教務上の事情等により授業回数や内容、形式に変更が生じる場合がございます。

・担当教員の都合により、休講や補講を行う場合があります。緊急の場合はできる限り電話等によりご連絡をいたしますが、行き届かない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

・社会人公開授業は単位認定を行いませんので、原則としてレポートの提出やテストを受ける必要はありませんが、提出や受験を希望する場合は担当教員とご相談ください。

・単位認定を希望される方は、各学校の「科目等履修生」制度をご利用ください。

☆ その他

・駐車スペースに限りがある学校もございますので、可能な限り公共の交通機関等をご利用ください。なお、構内で事故や盗難が起きた場合、責任を負いかねますのでご了承ください。

☆ 個人情報の取り扱いについて

社会人公開授業申し込み等で取得した個人情報については、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜の個人情報管理規則に基づき適切に管理し、社会人公開授業の運営及びネットワーク大学コンソーシアム岐阜からのイベント情報の送付以外の目的には使用いたしません。

Flow of a procedure

－手続きの流れ－



Access



岐阜大学
〒501-1193
岐阜市柳戸1番1
TEL:058-230-1111(代)

岐阜薬科大学(三田洞キャンパス)
〒502-8585
岐阜市三田洞東5丁目6-1
TEL:058-237-3931(代)

岐阜協立大学(北方キャンパス)
〒503-8550
大垣市北方町5-50
TEL:0584-77-3511(代)



朝日大学
〒501-0296
瑞穂市穂積1851
TEL:058-329-1111(代)

岐阜聖徳学園大学
《羽島キャンパス》
〒501-6194
岐阜市柳津町高桑西1-1
TEL:058-279-0804(代)
《岐阜キャンパス》
〒500-8288
岐阜市中鶉一丁目38番地
TEL:058-278-0711(代)

Contact

問合先

岐阜大学
教育連携課
058-293-2135

岐阜薬科大学
事務局学務・施設課
058-237-3931

岐阜協立大学
教務課
0584-77-3516

朝日大学
学事二課
058-329-1122

岐阜聖徳学園大学
羽島教務課
058-279-3493

加盟機関一覧

岐阜大学
岐阜県立看護大学
岐阜薬科大学
岐阜協立大学
岐阜女子大学
朝日大学
岐阜聖徳学園大学

東海学院大学
中京学院大学
中部学院大学
岐阜医療科学大学
岐阜保健大学
岐阜市立女子短期大学
東海学院大学短期大学部

中部学院大学短期大学部
大垣女子短期大学
中日本自動車短期大学
高山自動車短期大学
平成医療短期大学
中京学院大学短期大学部
岐阜工業高等専門学校

情報科学芸術大学院大学
放送大学岐阜学習センター
岐阜県立森林文化アカデミー